

平成30年8月8日（水）子ども環境体験ツアー「自然とつながる未来都市」

日 程

豊川市役所 → もりの^{まなびや}学舎(長久手市) → とよた^{エコフル} ecoful town(豊田市) → 豊川市役所

当日の様子



今回の子ども環境体験ツアーは小学生20名が参加しました。

午前中は長久手市の愛・地球博記念公園内にある「もりの学舎」へ行きました。



広場にある大きな木を下から眺めると、太陽の光が木の葉の間から差し込んでいました。木の葉を一枚拾って太陽の光にかざしてみました。木の葉は光が透けて見え、地面に落ちている時と違った見え方をしました。



この後、もりの学舎の教室に入って光の小箱を作りました。

皆、思い思いに箱の中に材料を並べ、完成した箱を窓の光にかざすと、箱からきれいな光が見えました。森にとって大切な光はたくさんのエネルギーを持っていることを、インタープリター（森の案内人）の方に教えてもらいました。

自然の観察や工作を通して、光の大切さや面白さなどを知ることができました。

午後は豊田市の「とよたエコフルタウン」に行き、コンシェルジュの案内で施設を見学しました。



ここでは、地球温暖化を防ぐために開発された燃料電池自動車と、その燃料を供給している水素ステーションを見学しました。水素を冷やしてから自動車に補給していることを教えてもらい、ディスペンサーのノズルを一人ずつ持たせてもらいました。

また、スマートハウスにも入りました。この家は自然の光や風を上手に取り入れて過ごしやすい工夫がされているほか、屋根上の太陽光発電と、家中で使用しているエネルギーをマネジメントして賢い使い方ができることを教えてもらいました。

今回の子ども環境体験ツアーでは、新しい技術と自然のつながりについて、知ることができました。

参加者の声（参加者アンケートより抜粋）

- ・ 地球温暖化が進まないように、どんな工夫をするのかわかりました。
- ・ エコフルタウンが楽しかった。
- ・ 今日、自然の太陽のことを学びました。
- ・ 光のこと（小箱）について、知ることができた。家でも作ってみたい。

・・・など